

若者に和紙の良さを伝える

3-3 G班

1 連携企業 山次製紙所

2 研究内容

和紙の強みを生かして若者向けの和紙製品を作り、和紙の良さをより伝える。

3 研究結果

和紙製品を作った結果、革や布と和紙を比べたとき、製品として和紙のほうが劣ってしまうという課題が見えた。解決方法として、他にはない和紙特有の魅力を活かすことを考えた。

4 変容

長期的に使うことはもちろんだが、若者向けなら、変わる流行に乗ったものを作ることも大事だと感じた。また、伝統を残しつつ、若者のニーズに合ったもの、普段遣いしやすいもの、流行にあったものを作ることが若者に和紙製品を使ってもらいやすくなるのではないかと感じた。若者向けの和紙製品が欲しいと考えていたが、いざ作ってみると改善点が多く、商品開発の難しさを知った。

5 参考文献

<https://youtu.be/qwM9ErAvxq4>

<https://youtu.be/kRquRG5Qhik>